

## 準師範試験実施要項

### ▽第六十九次漢字部・かな部課題

○漢字部 次の作品二点〔何れも半切35cm×135cmに揮毫〕を提出する。

・規定《書体 行草書》

五峯屏簇禪菴小 萬劫天開佛日輝

(許安仁)

讀||五峰屏簇つて禪菴小に 万劫天開いて仏日輝く

註||峰が連なる五峰山に僧の住む小さな菴があり、いつも仏の恵みを天下に知らしめている。●五峰||山名。江西省宜豊県の西北。

●禪菴||禅僧の菴。●万劫||悠久の時間。●仏日||仏の光明を日にたとえる。

・臨書 王羲之「集王聖教序」 十四字

西字十有七年窮歷道邦詢求正教

註||西字を(周遊)すること十有七年 道邦を窮歴して正教を詢い求め、

○かな部 次の作品二点〔半切35cm×135cmに揮毫〕を提出する。

・規定《書体自由》

山川に風のかけたるしがらみは流れもあへぬ紅葉なりけり(春道列樹)

註||山川に風がつくっている柵(しがらみ)は、流れようとして流れきれずにいる紅葉だったのだ。

・臨書 高野切第三種(伝 紀貫之)

あしひきのやまのまにまにかくれなむう きよのなかはあるかひもなし

### ▽第三十九次詩文書部課題

次の作品二点〔何れも半切35cm×135cmに揮毫〕を提出。※形式は縦作品に限る。

・規定《原文を尊重すること》

信濃路や田植盛りを雲さわぎ (臼田亜浪)

註||「田植」信濃路はいま田植の盛りである。天には雨雲が群ら立ち動いている、の意。信濃の山中の田植時の忙しい様がとらえられた句

・臨書 曹全碑 五字

封弟叔振鐸

讀||弟 叔振鐸を(曹国に)封す。

― 受験についての注意 ―

一、受験資格 漢字・かな・詩文書とも六段。かつ満十八才以上で『日本書道院 展出品経験者』(二〇〇三年四月一日生まれまで認める)。

一、受験料 六千円(漢字・かな・詩文書の別) 受験料は作品と別封とし、郵便振替にて同時に本院宛に送付のこと。

二、日本書道院展に一回以上出品の者(部門不問)。第70回展出品も可。

一、切 四月二十日 発表六月号

一、作品には申請書に貼付の出品票を使用して六段になった年月(日本書道誌 発表の月)を必ず記入して添付すること。又、作品の左下隅にも同じく鉛筆で段位・支部名・氏名を記入のこと。

一、不合格者(規定違反も同じ)はその氏名を發表しない。

一、受験作品は白画仙紙を用い、準師範受験申請書を作品と共に提出のこと。

また、封書には必ず「準師範応募」と朱書のこと。

一、準師範受験申請書は、返信料八十四円切手を添えて本部へ請求のこと。

一、提出した作品は一切返却しない。

◎月刊「日本書道」四月号に添付の『出品一覧表』に記入の上出品のこと。

◎出品作品には雅印押印のこと。

◎師範受験時には日本書道院展出品が二回以上必要となる。受験の際は注意すること。

### ▽第十一次硬筆部準師範課題

・規定

静かに優美に清浄に降る雪の美しさを表現するナンバーワンの言葉は細雪でしょうか。

・臨書 蘭亭序(王羲之) 十六字

一室之内或因寄所託 放浪形骸之外 雖

讀||一室の内に悟言し、或いは因て託する所と雖も、

註||一室の内で語り合い、ある者は好むところによって、肉体の外で自由に行動する。とはいえ、

一、受験資格 六段

一、受験料 四千元

一、準師範受験申請書は、返信料八十四円切手を添えて本部へ請求のこと。

一、切 四月二十日 発表六月号

一、作品には申請書に貼付の出品票を使用して六段になった年月(日本書道誌 発表の月)を必ず記入して添付すること。また、封書には必ず「準師範応募」と朱書のこと。

◎月刊「日本書道」四月号に添付の『出品一覧表』に記入の上出品のこと。

## 昇段・級試験実施要項

### ▽第二二八回漢字部・かな部課題

#### ○第一部 「半切35cm×135cm」

次の漢字又はかな（各書体自由）を縦に揮毫したものを一点を提出。

漢字部

兩箇黃鸝鳴翠柳 一行白鷺上青天（杜甫）

讀 兩箇の黃鸝 翠柳に鳴き 一行の白鷺 青天に上る

註 二羽のうぐいすが緑の柳の枝で鳴いており、白さがが一行に並んで澄み渡る青空に舞い上がって行く。

かな部

名にし負はば逢坂山のさねかづら人に知られでくるよしもがな（三条右大臣）

註 「逢坂山のさねかづら」といって、「逢って寝る」という名を持っているのならば、その「さねかづら」を手繰るように人に知れないように行く方法があればよいがなあ。

一、受験資格 漢字・かなとも二級以上のもの

一、受験料 一点につき 三千円。成績により六段以下の相当級に編入する。

②漢字・かな受験者の事情により昇段試験の課題（漢字・かな）を半切1-2（35cm×68cm）に二点（形式を変えるか縦・横にする）揮毫しても受験することができる。但し、現在二級・一級・初段・二段の者は一点でもよい。

#### ○第二部「半紙」次の漢字（楷書）又はかな（書体自由）を揮毫したものを一点

漢字部

飛雪千里（屈原）

讀 飛雪千里をとぎして雪ふる。

註 千里をとぎして雪ふる。

かな部

逢ふことの絶えてしなくはなかなかに人をも身をも恨みざらまし

（中納言朝忠）

註 相逢ふということが全くないものならば、かえってあの人のつれなさを自分自身をも、恨まないでいるだろうに！

一、受験資格

漢字・かなとも二級以下のもの「漢字作品には支部名・段級・氏名（号）を競書と同じく筆によつて揮毫する。かなの場合は名（号）又は雅印を捺した上に、作品左下隅にも鉛筆で段級と支部名、姓号を記入する。」

一、受験料 一点につき、千円。成績により一級以下の相当級に編入する。

### ▽第三十九回詩文書部課題

#### ○第一部 「半切」次の俳句（原文を尊重すること）半切35cm×135cmに揮毫したものを一点

※形式は縦作品に限る。

水無月や風にふかれにふる里へ（上島鬼貫）

註 「水無月」京よりいたみへ行：の前書がある。盛夏の水無月、涼風に吹かれに故郷へやってきてホッとしたことだ、の意。

一、受験資格 二級以上のもの

一、受験料 一点につき、三千円。成績により六段以下の相当級に編入する。

②詩文書受験者の事情により昇段試験の課題を半切1-2（35cm×68cm）に二点（形式を変えるか縦・横にする）揮毫しても受験することができる。但し、現在二級・一級・初段・二段の者は一点でもよい。

#### ○第二部 「半紙」次の俳句（原文を尊重すること）を揮毫したものを一点

※形式は縦作品に限る。

甘酒屋打出の浜におろしけり（松瀬青々）

註 「甘酒屋」打出の浜は天津市膳所の北方、琵琶湖畔。歌枕で知られる打出の浜に、甘酒屋が荷をおろしたという、優雅な土地に庶民的な取り合わせの面白い句。

一、受験資格 二級以下のもの

一、受験料 一点につき、千円。成績により一級以下の相当級に編入する。

― 出品についての注意 ―

一、×切 四月二十日 発表六月号

一、作品には四月号発表の競書成績の段級と支部名又は府県名、氏名又は号を書いた小票（たて11センチ×よこ4センチ・競書用出品券使用可）を作品の左下に貼付する。又作品左下隅にも同じく鉛筆で段級・支部名・氏名を記入のこと。「級の新しいものは新とすること」

一、一級以上のものは第一部「半切」へ出品のこと。

一、各部で昇級できなかったものは氏名を発表しない。（規定違反も同じ）

一、昇級試験の作品は競書作品と別にし、必ず封書に「昇試」と朱書する。

一、受験料は郵便振替にて作品と同時に送付のこと。

一、提出した作品は一切返却しない。

◎月刊「日本書道」四月号に添付の『出品一覧表』に記入の上出品のこと。

◎出品作品には雅印押印の習慣をつけること。

# 硬筆部・昇段・級試験実施要項

## ▼第十三回

○応用部 次の課題を「硬筆用紙」に書いたもの一点。  
・花が開き始めて散るまでの短い時間停滞桜の姿を愉しみ愛でる。

一、受験資格 一級以上のもの 作品には支部名・段級・氏名(号)を競書と同じく硬筆用紙に書く。

一、受験料 一点につき、二千元。成績により六段以下の相当級に編入する。

○基礎部 次の課題を「硬筆用紙」に書いたもの一点。

・古くから「雪月花」といわれ春の桜秋の月とならんで冬は雪を愛でてきました。

一、受験資格 二級以下のもの 作品には支部名・級・氏名(号)を競書と同じく硬筆用紙に書く。

一、受験料 一点につき、千円。成績により一級以下の相当級に編入する。

### ― 出品についての注意 ―

一、〆切 四月二十日 発表六月号

一、作品には四月号発表の競書成績の段級と支部名又は府県名、氏名又は号を書いた硬筆用紙に記入し、硬筆用紙内の( )内に「昇試」と朱書する。

【級のなものは新とすること】

一、一級以上のものは応用部へ出品のこと。

一、各部で昇級できなかったものは氏名を発表しない(規定違反も同じ)。

一、昇級試験の作品は競書作品と別にし、必ず封書に「昇試」と朱書する。

一、受験料は郵便振替にて作品と同時に送付のこと。

一、提出した作品は一切返却しない。

◎月刊「日本書道」四月号に添付の『出品一覧表』に記入の上出品のこと。

## 第12回「日本書道院同人展」開催

会場 フェニックスホール(紙パルプ会館)  
〒104-8139 中央区銀座3-9-1 1  
※東京メトロ「銀座駅」A12出口

会期 令和2年11月24日(火)～29日(日)  
午前10時～午後6時(最終日午後4時閉館)

本院同人による「半切サイズ」の作品を中心とした展覧会です。漢字・かな・詩文書合わせて60点の作品を展示します。100人展・選抜展と併せてご観覧ください。

### 出品者 ◎…優秀賞 ○…準優秀賞

漢字	かな	詩文書
鳴花子堂枝雅史薫雅子行邨恵	彦子峰央雅蓮鳳樹汀扇萌	逕呂月光穹
津井坂川泉上上橋藤本村根田	和順梧桐千博水蒼白千伽	俊妃裕翠清
翠榮礼勁澄安雅和紀信浩田	屋尾井田本田松戸井邊	山岩藤岸野
鳴花子堂枝雅史薫雅子行邨恵	○土寺廣前松松宮村八吉渡	神黒佐高矢
津井坂川泉上上橋藤本村根田	○泉洲静子儷奏逕雪華悦香玲	隆苑舟舟雪
翠榮礼勁澄安雅和紀信浩田	六惠典如妙幸耿翠梅朋露華玲	政桃明葦舟
鳴花子堂枝雅史薫雅子行邨恵	木栗小坂笹塩鈴鈴鈴須田	多田田崎次
津井坂川泉上上橋藤本村根田	○廣前松松宮村八吉渡	○吉
翠榮礼勁澄安雅和紀信浩田	井今上大北栗小駒坂左真	恵花輝舟雪利公水舟舟紫峯
鳴花子堂枝雅史薫雅子行邨恵	上井原嶋村原持林崎登藤	理秋虹翠聖由香緑燈玲玉千
津井坂川泉上上橋藤本村根田	○小駒坂左真	多田田崎次